

## 東洋大学国際学部国際地域学科紀要 原稿執筆要領

平成 29 年 10 月 10 日 学科会議承認

### (使用言語および使用ソフト)

第 1 条 使用言語については特に制限はしない。ただし、印刷等に当たり特別の技術その他の事情を有する言語については、事前に編集委員に相談すること。原稿は原則としてワープロ打ちとする。使用ソフトは MS ワード互換とするが、それ以外のソフトを使用するときには事前に編集委員に届け出ること。

### (執筆者)

第 2 条 著者のうち、規程に定められた投稿資格を持つ者については、氏名の右肩に\*印をつけて示すこととする。それ以外の者についてはその所属を脚注に示すものとする。

### (要旨およびキーワード等)

第 3 条 原稿の本文が日本語の場合には、英語の表題、著者名、要旨およびキーワードをつけること。原稿の本文が英語またはその他の言語の場合には、各言語の要旨、キーワードの他に、日本語の表題、著者名、要旨およびキーワードをつけること。

なお、論文・査読論文以外の種別の原稿については要旨を必須としない。

### (本文および脚注・注)

第 4 条 本文は原則として横書きとし、A4 サイズ 1 ページにつき 1 行 44 文字× 35 行を標準とする。英語の場合は 10.5pt、ダブルスペースで記述する。長さは査読論文、論文、研究ノートについては日本語の場合は A4 用紙 30 枚を超えない程度とし、その他の種別については 10 枚を超えない程度とする（いずれの場合も図表を含むものとする）。他の言語の場合もこれらに準ずる。

以上の内容に依りがたい時は編集委員と協議して決めることとする。脚注は、本文中の該当箇所の右肩に一連番号を打ち、注そのものは当該ページの下部に記入する。各章毎、あるいは本文末に注をまとめる場合も、注番号は当該箇所の右肩に一連番号で示すこととする。

### (参考文献)

第 5 条 参考文献は、原則として以下の要領で記載する。

#### (1) 和文の参考文献（翻訳を含む）の場合

##### 一 雑誌

著者名、表題、雑誌名、巻数（号数）、（刊行された西暦年）

##### 二 単行本

著者名、書名、発行所、ページ数（号数）、（発行された西暦年）

### 三 編著書の中の1章またはシリーズの中の1巻

著者名、章名、編者（または監修者）名、書名、発行所、ページ数、（刊行された西暦年）、または著者名、書名、編者（または監修者）名、シリーズ名、第XX巻、発行所、ページ数、（刊行された西暦年）

### 四 その他の参考文献については、上記一、二、三に準ずる。

#### (2) 欧文等の参考文献の場合

上記(1)に準ずる。ただし、誌名、書名、シリーズ名においては、初語以外の冠詞、接続詞、前置詞を除く各語の初字を大文字とする。

#### (図表)

第6条 図表は、原則として以下の要領で記載する。

- (1) 図は著者の作成したものをそのまま印刷するので、Microsoft Office等のツールで作成すること。手書きの図表をトレースする必要がある場合は別途申告すること。トレース等が困難な場合にはトレース料は自己負担とする。
- (2) 手書きの図表については、なるべく白紙に黒インクで大きめに書くこと。各図は一枚毎に別々の用紙に書くこと。図中の文字数等は写植されるので、正確に書くこと。大文字と小文字、イタリック体、ゴチック体などの違いにも注意すること。
- (3) 図（写真を含む）および表には必ず名称をつけること。
- (4) 図表の番号は、それぞれが本文に現れる順にしたがって、通し番号でつけること。また、本文中の各図表の挿入箇所は明確に指示すること。
- (5) 各図表の作成に使用した資料あるいは文献は、必ず注として明記すること。

#### (原稿の提出)

第7条 A4用紙に本文を印刷したもの、図表についてはそれぞれ1枚の用紙に印刷したハードコピーを1部、およびワープロのフォーマットおよびテキスト形式のファイル両方を保存したメディア（USBメモリ、CD-R等）を提出する。提出物は返却されない場合がある。